

科目	欧米企業論	担当	雨宮 康樹	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

長い歴史と独自の文化を持つ欧州各国の経済や企業について解説する。講義では仏独英を中心に経済・経営の説明を行うが、それらに加え長い伝統を持つ欧州各国の文化についても大いに語る予定である。アメリカ企業については、欧州企業との対比を通してその特質を明らかにする。今年、フランス大統領選挙、ドイツ連邦議会選挙が予定されており、選挙の結果次第では、欧州連合の先行きに大きな変化が生じるかもしれない。この講義を通してヨーロッパの経済や政治、文化がより身近に感じられるようになってもらいたい。

【履修注意】

講義開始時に履修上のルールを説明する。ルールを順守できないと思う学生は、第一回講義終了後、履修変更すること。

【評価方法】

中間まとめ、期末試験(80%)および出席(20%)

【試験について】

中間まとめ、期末試験を実施する。

再試験対象者の条件: 中間試験と期末試験の平均点が50点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

購入教科書なし。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	欧州とは何か(1)	欧州の歴史と地理上の範囲の変遷 ヨーロッパ諸言語
2	欧州とは何か(2)	ローマ文化 中世ヨーロッパとキリスト教文化 イスラム文化
3	2つの資本主義(1)	アングロサクソン型資本主義とライン型資本主義
4	2つの資本主義(2)	市場経済の伝統と英米企業 社会民主主義と独仏企業
5	EUとユーロ経済圏	欧州経済統合の歴史と共通通貨ユーロ
6	フランスの経済	仏の新大統領 中央集権国家とディリシズム 教育制度
7	フランス企業(1)	国有企業 仏の重要産業 航空機産業 原子力発電 高速鉄道
8	フランス企業(2)	ファッション産業 グルメの国フランス ブランドビジネス
9	ドイツの経済	連邦国家と地方分権 東西ドイツ統合 教育制度
10	ドイツ企業(1)	社会的市場経済とドイツのコーポレートガバナンス
11	復習	前半のまとめと確認
12	ドイツ企業(2)	強い製造業と中小企業 分散している産業都市
13	英国の経済	市場経済の伝統 サッチャリズムと新自由主義
14	英国企業	英国系多国籍企業 衰退する製造業 金融業
15	欧州経済の今後	現状の問題点と将来展望
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ